

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日: 令和 6 年 3 月 14 日

公表: 令和 6年 3月 17日

事業所名: 児童デイ まり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用者様が全員見渡せる見通しの良いスペース確保。	
	2	職員の配置数は適切である	○			基準より多い看護師・保育士数の配置
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		玄関より施設内全面フラットにしてある。	障害者に適するお風呂への改善が必要。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎月のスタッフ定期会議の開催。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		役割に応じた研修への参加。	積極的に参加できる環境を作っていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		電話・送迎時・来所の確認をし、相談の機会を作っている。	関係機関との連携で支援計画を作成していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		日々の成長に合わせた活動プログラムを決めている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節に合ったイベントを計画。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			利用児様に寄り添った課題を決めていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個々の目標に沿った支援計画を立てる。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼で前日の支援を振り返り、当日の役割分担・注意事項の伝達を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	翌日の朝礼にて実施	当日の業務終了後は送迎もあり難しいので、引き続き朝礼時に行っていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々、詳細に連絡帳への記入。見直し。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に行い、結果に応じた見直しを実施。	半年に一度のモニタリングの実施。相談支援・他事業所からの情報収集で情報共有。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		関わりの多いスタッフ・看護師が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		家庭からの情報を下に担任の先生と送迎時に会話をしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		契約時に緊急対応表の作成を行っている。	ご父兄からかかりつけ病院・担当医・連絡先を詳細に聞き取っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		幼稚園・保育園からの就学時の利用がありません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		卒業生の利用がありません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時の会話や連絡帳・電話・ラインで共有している。	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時・見学时説明にて行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約時の重要説明書に業者窓口・行政機関等の苦情受付機関を記載している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵付きに書庫にて管理。不要な書類等はシュレッターで処分。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		電話以外にピンネスラインを利用。	個々に分かりやすい伝達方法の利用。(タブレット等)
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		常に関覧・確認出来るようになっている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			定期的に代表者による虐待防止委員会の実施。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に同意書に署名・捺印をもらい、コピーし控えをお渡ししている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		調理時は食札にて十分な確認を取っている。	契約時に看護師による聞き取りを行い、スタッフ間で共有している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		関わったスタッフがヒヤリハット作成。	朝礼時に発表しスタッフ間で共有している。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表：令和 6年 3月 17日

アンケート期間：令和 6年 2月 5日～令和 6年 2月 29日

事業所名：児童デイ まり

保護者等数(児童数)14

回収数 10

割合 71%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9			1	広いスペースがいい と思います。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	6			4		基準より多く配置して います。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10				バギーも移動しやす いと思います。	施設内はフルフラット です。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	8			2		定期的にご父兄との聞き 取りを行い、利用者様の 要望に沿った計画書を作 成するよう努めています。
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	7			3	外出する機会を設け て欲しい。	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1		4	5	今は必要としない。	感染症に気を付け、開 催を検討します。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10					
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10					
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	3	1			モニタリング時には来 所いただくようお願いし ています。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		3	4	3	特に必要とは感じな い。	感染症に気を付け、開 催を検討します。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	1	2	苦情ではありません が、問い合わせ等にも 迅速に対応いたしてい ます。	契約時の重要事項説 明書に苦情窓口の記 載があります。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	1		1		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6			5		行事予定等はまり便り だけでなく、ホーム ページへの記載も検討 します。
14	個人情報に十分注意しているか	10					鍵付きの書庫に保管してあり ます。不必要な書類等はシュ レッターで処分しています。	
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	2	1		7		事務所内にマニュアル を常設し、いつでも閲 覧できるようになって います。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1			9		
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	10				いつも笑顔で帰って きます。	過ごしやすい場の提供 に努めます。
	18	事業所の支援に満足しているか	9	1			いつも支援いただき ありがとうございます	

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

児発事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日：令和6年3月14日

公表：令和6年3月17日

事業所名：児童デイ まり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		施設全体見通しの良いスペース確保。	
	2 職員の配置数は適切である	○		基準以上に配置している。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		玄関より施設内フロア全域をフラットにしている。	利用者様の障がいの特性に応じた安全性や情報伝達の確認を取っていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		細目に清掃を行い、常に消毒を行っている。	始業と終業時の清掃・消毒、時間を決めての換気で気持ちよく過ごせる環境を作っている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表を下に改善点をスタッフと話し合っている。	全員参加でのミーティングを開催。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		役割に応じた研修への参加を行っている。	研修後はスタッフに報告。他種研修への参加機会を増やしていく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		モニタリング会議を実施し、アセスメントをしっかりとっている。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		個々に沿って丁寧に作っている。	発達支援・家族支援・地域支援で必要な支援を検討、選択をし計画を立てていく。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		モニタリング会議で共有している。い	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		イベント・遊び・音楽等を企画している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		時期(季節)に応じて企画している。	個別のスケジュールに沿ってのプログラムを作成。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼時にて当日のスケジュール・役割・注意事項の確認を取っている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	翌日の朝礼にて前日の申し送りを行っている。	終了後は送迎もあり時間的に無理があるので、朝礼にて行う。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡帳・申し送りノートで常に情報共有を行っている。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			6か月ごとのモニタリングの実施、他事業所・相談支援からのモニタリングで情報共有を行う。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		関わりの多いスタッフ・看護師が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		定期的に連絡を取りアドバイス・情報交換をもらっている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		保護者を通じて関係機関の報告をうけている。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		契約時に緊急対応表を作成し、指定医療機関・担当医・連絡先の聞き取りを行っている。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				該当の利用者様が利用していない。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				該当の利用者様が利用していない。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在、実施していません。感染対策に留意し開催に向けて検討する。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			保護者様との連絡を密に鶏、スタッフ間で内容確認、たいさくの検討を行う。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に契約書に沿って行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援内容を説明し、捺印をお願いしている為、納得した上で計画書ができている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡帳以外にラインの連絡手段を増やし、情報の共有をしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在、実施していません。感染対策に留意し開催に向けて検討する。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		ラインを取り入れたことでスムーズに対応できるようになった。	契約時の重要事項説明書に苦情相談窓口の記載があります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的にまり便りを発行しています。	まり便りにて行事等の内容を伝えている。連絡帳で活動内容を報告している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付きの書庫にて管理。不要な書類等はシュレッターで処分している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現在、実施していません。感染対策に留意し開催に向けて検討する。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		常に閲覧・確認できるようになっています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に看護師のアセスメント時に詳細に聞き取りを行っている。	個人ファイルを用意し、スタッフ間で共有している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		調理時に食札で確認を取っている。	契約時に看護師のアセスメント時に詳細に聞き取りを行っている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		関わったスタッフ間が記入している。	インシデント・アクシデント報告書はまとめて保管し、いつでも閲覧できるようになっている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			定期的に代表者による虐待防止委員会を実施。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に十分な説明をし、同意書に署名・捺印をしていただき、コピーし控えをお渡ししている。	スタッフが安易に拘束しないように努めている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児発事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 6年 3月 17日

アンケート期間：令和 6年 2月 5日～令和 6年 2月 29日

事業所名：児童デイ まり

保護者等数(児童数)：8 回収数：5 割合：63%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5				広々として活動しやすいと思います。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5				看護師・保育士の配置は	基準より多く配置しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5				とても明るく、子どもが過ごしやすい環境だと思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5				いつも綺麗にされています。	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3	2			モニタリング、アセスメントでの聞き取りがあり、案の説明もあります。	保護者様からの聞き取り、日頃の様子を確認し作成しています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4			1	家族の思いや子どもの思いを適切に聞き取っています。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5				支援に手厚い印象。	支援内容を写真・動画送信で共有していく。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2	2		1		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				5	活動の様子はない。	現状、活動する状況ではないので落ち着いたら検討します。
保護者 への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5				契約時にしっかり時間を取っていただきました。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	3			2	支援内容をしっかり説明していただきました。	送迎時や電話でも説明の機会を設けています。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	1	1		3		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができてきているか	5				連絡帳やラインで細目に連絡してもらえます。	これからも日比野様子を発信していきます。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1	3		1		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			2	3		現状、活動する状況ではないので落ち着いたら検討します。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4			1	いつでも相談できる。対応も丁寧。	
	17 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5					
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2			3	まり便りが定期的にある。	月便りの内容向上に努めます。
19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	5					鍵のかかる保管庫で管理し、必要な書類等はシュレッターで処分しています。	
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。		2		3		いつでも、誰でも閲覧できるようにしています。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		1		4		
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	5				毎日ニコニコで帰ってきます。	
	23 事業所の支援に満足しているか	5				いつもありがとうございます。	

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。